

# ふれあいの発進



社団法人 南宇和郡医師会  
**老人保健施設**  
**なんぐん館**  
 南宇和郡御荘町深泥703-2  
 TEL. (0895) 73-1021  
 発行責任者 施設長 兼吉 章

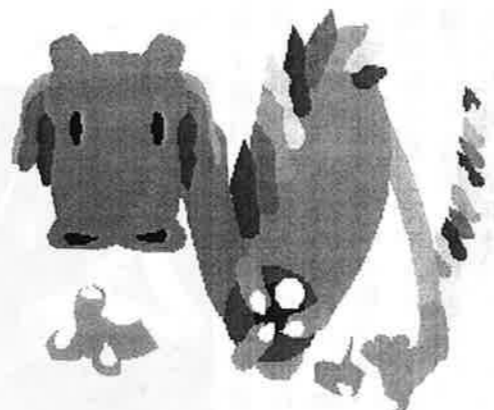
明けましておめでとうございませう。職員の皆様には二〇〇〇年の清々しき新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。



会長 粉川 顯仲

医師会長あいさつ

## 謹賀新年



本年もよろしくお願ひいたします

なんぐん館も平成一〇年六月の開所当時はなにかと不備な点があり入所者及びその家族や関係機関の方々に大変御迷惑をおかけしましたが、兼吉施設長や二神事務長を中心にして組織の整備を図る一方で、職員の皆様が日頃の研修を通じて看護介護の質の向上を図ってきた結果、最近ではやっと老健施設としての一応の形が整い、質的にも以前に比べると随分と向上したように思います。しかし、専門施設としてはまだまだ発展途上であります。今後、南宇和郡における福祉施設の中心的な役割を果たし地域の皆様の期待にこたえてゆくためには、より一層の努力が必要であります。

我々は、医師会、行政、住民が一体となって機能する地域ケアシステムの構築をめざしています。その活動の一環として老人保健施設や訪問看護ステーション、指定居宅介護事業所の設立運営をはじめたわけですが、今年三月一八日には京都の早川一光先生をお招きして御講演をさせていただく予定です。これを機に地域ケアシステムを正式に発足出来ればと思っております。

職員の皆様は自分の専門職を磨くことはもちろん必要ですが、職場は皆様の生活の場でもあります。明るく楽し働けるような職場になるよう祈っております。



## 俳句・短歌コーナー

二〇〇〇年を祝ひて白き花咲かむ  
 なんぐん館とめぐる桜の苗に

青き山々重なりて見ゆる広き窓  
 どの山陰か我が住みし町は

新しき四人部屋に共に住み会いて  
 過ぎし悲しみを言うこともなく

光井 芳子

世話をするせられる者この気持ち  
 朝の料理のありがたきかな

足もとにとり残されし水仙の  
 花のころをいかにありなん

それぞれに荷物背おって生きている  
 けなげな姿なみださそえる

山口フデノ

このコーナーでは皆様が考えられた俳句や短歌を紹介していきたいと思ひます。今回は二階に入所されている光井芳子さんと山口フデノさんに趣味の短歌を三首ずつ寄せて頂きました。良い歌を思ひついたり我こそはと思ひう方はぜひこのコーナーまでお寄せ下さい。

## なんぐん館ワンポイント情報

風邪やインフルエンザが流行する寒い季節となりました。

予防のために

- ①うがい手洗いの励行をする
- ②規則正しい生活をし栄養と休養を十分に取る
- ③適度な運動を行い体力を付ける
- ④乾燥を防ぐために適度な湿度を保つ
  - ・加湿器を設置する
  - ・塗れタオルをかけておく
- ⑤外出時人混みをさける
- ⑥マスクを着用する

以上のことを心掛け、健康管理に気を付けましょう。

## 澤近節男先生永眠される

去る十一月十六日、澤近医院元院長澤近節男先生が享年八十歳で永眠されました。先生は南宇和の医療に多大な功績を残されただけではなく、地域の医療・教育・文化の発展に寄与されました。

医師として病氣は勿論のこと、学校医また学生のスポーツ発展に貢献されてきました。澤近先生には本当にお世話になりました。深くお悔やみ申し上げますと共に謹んでご冥福をお祈りいたします。

## 2月の行事予定

2月25日(金) 誕生会



## 1月の行事予定

1月28日(金) 誕生会



新年、明けましておめでとうございます。  
 今回発行の予定が遅れてしまいましたが、何とか「ふれあいの発進」第二号を発行することができました。原稿を寄せて頂いた皆様、ありがとうございました。これからの発行に向けて、参考にさせて頂きたいと思ひますので、ご意見・ご感想・ご要望等ありましたら、編集部あてにお寄せ下さい。お待ちしております。  
 それでは、本年もなんぐん館共々よろしくお願ひいたします。